

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年 3月 1日

事業所名 スタジオそら上野毛

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	4	1	大部屋3名同時利用だと狭く感じるため、屋外や小部屋を活用しています。朝礼や昼礼の打ち合わせ時などの利用児童がどの部屋をどのくらい時間使うかを確認しています。その際、密にならないよう配置を考えています。	安全管理の面からも小部屋や屋外での活動を取り入れていきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	0	5	人手が必要な時間帯にどう対応するかを打合せで確認をしています。	配置数は満たしていますが、電話対応や訪問者の対応、フィードバック対応などに余裕がない時があるため、余裕をもった人員配置ができるよう努めます。職員が動きやすい環境づくりを目指し、整備して参ります。また社員研修を積極的に行って参ります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	2	玄関では靴を脱ぐ場所や動線の提示があります。窓のストッパーや扉を挟まないような工夫がされています。防振対策として工事を行ったため、大部屋に段差がありますので、段差に注意しながら活動を実施しています。	構造化はされていますが、余計なテープが貼ってあることががあるので、視覚的に環境設定を都度整えてまいります。引き続き安全管理に留意をしながら活動を行ってまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	4	1	日に2回の清掃と月に1回クレンリネスを実施しています。子どもの活動に合わせて環境を整えています。	運動についての活動内容が異なる場合も、子どもや内容に合わせて環境設定を行ってまいります。引き続き清掃、消毒を徹底してまいります。
適切な支援の内容	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	5	0	全職員が理解し取り組むことができています。児童発達支援は特に成長が早いためにこまめに達成状況を確認し、必要に応じて目標設定をし直すこともあります。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	5	0	HP上で公表しています。日ごろのフィードバック時などで意向を把握するように努めています。	今後も継続してまいります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	HP上で公表しています。	今後も継続してまいります。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5	社内でチェック機能を作り、定期的に評価できるように体制を作っています。	外部評価は実施していませんが、引き続き社内でのチェックを定期的に行ってまいります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	様々な分野に対して研修の機会を設けています。月に1回は研修があります。	引き続き、支援の充実を図ります。
業務改善	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	半年に一度アセスメントとヒヤリング面談を実施し、支援計画を作成しています。アセスメントの際は、出来る限り複数スタッフで実施し、客観的に観察するようにしています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	標準化されたスタジオそらアセスメントを使用しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1	どのような項目や内容が必要かチームで話し合って設定しています。	地域支援については感染症蔓延防止もあり、実施がありませんでした。ガイドラインをスタジオに設定し、いつでも目を通せるようにしているため今後も意識して確認できるように周知してまいります。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	毎日打合せにて支援計画を確認し、沿った内容の確認をしています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	毎日打合せで内容を確認しています。立案自体は個人ですが、打ち合わせでプログラム内容は共有しています。不明な点があればチームで考えることができます。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	毎日打合せで内容を確認しています。同じ課題でも子どもが飽きないように工夫をしています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	0	個別の利用が多いですが、小集団の参加を提案することがあります。	今後もニーズを共有し、状況に合わせた支援ができるよう工夫してまいります。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	毎日朝礼と昼礼を実施し、課題や最近の様子について共有し確認しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	毎日終礼にて振り返りと共有を行っています。個別シート上で共有事項を付箋に貼るなどして共有しています。	引き続き、支援の充実を図ります。

関係機関や保護者との連携	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	記録の記載漏れや内容をチェックし、支援がずれていないかなどを確認しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	モニタリング該当児をピックアップし、視覚的に行うことで定期的なモニタリングを実施し、ケース会議を行うことができています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	0	5	電話でのモニタリングなどは実施しています。	感染症対策の為、実施がありませんでした。必要に応じて連携してまいります。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	相談支援事業所や他事業所と連携が取れています。	連携を取っていない機関もあるので、連絡会で繋がりをつくるなど関係を深めていけるよう工夫していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5	現在対象者は利用していません。	特にありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	5	現在対象者は利用していません。	特にありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	3	保護者から依頼があった場合、保護者を通じ必要に応じて実施しています。	感染症蔓延防止のため、見学会などの実施はありませんでした。保護者の方にもそのようなニーズに対応していけることをお伝えしていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	3	保護者を通じて必要に応じて実施しています。必要に応じて就学支援シートのお渡ししています。	感染症蔓延防止のため、見学会などの実施はありませんでした。保護者の方にもそのようなニーズに対応していけることをお伝えしていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4	保護者を通じて連携を取ることができています。モニタリングの際などでのやりとりは電話にて実施しています。一度区の研修には管理者が参加しました。	助言や研修の機会は少なかったですが、必要に応じて参加してまいります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	5	毎年行っていたそらコンサートの開催が感染症対策のため、実施することができませんでした。	感染症等の状況を踏まえながら必要に応じて検討していきます。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	5	感染症対策のため、子ども部会の実施がありませんでした。	感染症等の状況を踏まえながら必要に応じて参加していきます。	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	日々のフィードバック時や面談の機会を実施しています。保護者からも相談があれば対応をしています。	引き続き、支援の充実を図ります。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	5	可能な範囲内で家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等を実施しています。	研修を行い、スキルの上を図り、実施していけるように努めていきます。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	入会契約時に説明しています。	今度も丁寧な説明を心掛けていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	入会契約時に説明し、毎回の面談でも説明をして同意を得ています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	定期的な面談を実施しています。また、保護者から要望がある際は迅速に対応できるようにしています。フィードバック時に対応できる範囲で実施しています。チームで話し合ったことを保護者に伝えたりもしています。	相談自体の件数は多くありませんが、相談が来た際に適切な助言が出来るように致します。相談しやすいような環境や関係性を築いてまいります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	開催はありませんが、保護者同士の同意の上で連携を必要としている際に紹介したことはあります。	保護者のニーズを聞き取り、必要に応じて検討致します。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	申し入れがあれば迅速に対応しています。スタッフ間でもすぐに共有をし、漏れが無いようにしています。	一度相談の申し入れがあった際に、相談室が使用中の事がありました。可能であれば事前に面談希望の旨を連絡してもらうなどを周知した方がよいかもしれません。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	そら通信を毎月発行しています。行事予定などは毎月のアンケートにて発信とポスターを掲示しています。またイベント内容も待合室に掲示しています。メールでの連絡を多く行い発信しています。	引き続きHP上でもそら通信やスタジオ情報の充実をしてまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	スタッフルームから持ち出さないように注意しています。スタッフ同士でも注意をし、確認をしています。フィードバックでは利用者同士の話が聞こえないよう場所に配慮しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	担当のお子様ではなくても活動前後にコミュニケーションを取り、その内容を職員共有しています。	引き続き、支援の充実を図ります。

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	毎年行っていたそらコンサートの開催が感染症対策のため、実施することが難しい状況でした。あおぞら療育は地域の公園で行っています。	感染症蔓延防止のため、実施がありませんでした。事業への理解が低い可能性がありますので、今後感染症等の状況を踏まえながら検討していきます。
非常時の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	マニュアルを策定し、それに基づき職員研修や訓練を実施しています。保護者待合にマニュアル置いています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	定期的な訓練や確認を実施しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	入会時フェイスシートにて確認、記入後にも変更があった際確認や追記をしています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	5	基本的に食事提供などがなく、今年は食べ物を扱うイベントを実施していません。	機会がある場合は注意喚起を行っていきます。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	毎日の終礼での確認と、その内容をまとめた事例集を作成し確認しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	定期的な研修を実施しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	虐待防止研修時に確認しています。実際には該当児いらっしゃいません。	引き続き、支援の充実を図ります。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。